

すべては牛改良のために

発行所：社団法人 ジェネティクス北海道

発行人／渡辺浩一

平成23年3月15日号

Sire

サイア

Vol.387

3
月号



JP3H54002 GOLDEN



JP3H53959 GOLD DREAM



JP3H53622 M OMAN



JP3H53940 WINNER

CONTENTS

- 2 お知らせ
平成23年度
牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会開催要領
- 3 NTP一覧表
乳用種雄牛評価成績 2011-2月(総合指数順位)
- 4 ホルスタイン新規種雄牛紹介
ゴールドドリーム・エム オーマン
- 6 現場日より
上川管内における『もつつぼ系』和牛増殖の試み
- 8 ホルスタイン新規種雄牛紹介
ゴールドデン・ウイナー・スプラッシュ
- 11 連載⑩
サイロ・サイレージ物語
- 12 海外レポート
第37回 国際胚移植学会 in Florida
- 14 黒毛和種種雄牛紹介
遺伝的多様性の確保に最適!!
～おすすめの藤良系(糸桜系)種雄牛のご紹介～

JP3H53998 SPLASH



平成23年度 牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会開催要領

牛に係る家畜体内受精卵移植の資格を付与するため、次により講習会を開催する。

1 講習会

- (1)開催者：社団法人ジェネティクス北海道
- (2)期 日：平成23年8月24日(水)～同年9月9日(金)まで(日曜日を除く15日間)
- (3)場 所：清水町農業研修会館 / 上川郡清水町字清水第4線59番地(TEL0156-62-2521)
- (4)受講資格：牛に係る家畜人工授精師の免許を有し、新たに家畜体内受精卵移植の資格を得ようとする者(免許証の交付を受けている者に限る)。
- (5)受講人員：25名程度(希望者が多数の場合は、家畜人工授精師の経験年数、受講希望理由等を考慮して選考する)
- (6)講習科目：家畜改良増殖法施行規則第23条に定められた科目及び時間数。

2 修業試験 学科及び実習

- (1)日 時：平成23年9月9日(金)及び10日(土)
- (2)場 所：上記1の(3)に同じ

3 受講手続

受講願書、履歴書(市販様式に限る)及び家畜人工授精師免許証の写を社団法人ジェネティクス北海道理事長あてに提出する。

- ・履歴書に貼付する写真は、本人と確認できるものに限る。
- ・履歴書に受講希望の理由を具体的に記載すること。
- ・提出期限は平成23年7月20日(水)必着とする。

4 受講料

60,000円(宿泊費等は含まない)

5 受講許可

受講の許可又は不許可については、書面で本人に通知する。

6 その他

- (1)宿泊は、各自が旅館等に申し込むこと。
なお、車中又はテント内で宿泊する者は受講を認めない。
- (2)提出された書類は返却しない。
- (3)受講願書等の送付先及び講習会についての問い合わせ先は次のとおり。

社団法人ジェネティクス北海道・生産部
060-0004
札幌市中央区北4条西1丁目1北農ビル 13階
TEL 011-242-9644
FAX 011-242-9651

受講願書(様式)

受 講 願 書

平成 年 月 日

社団法人ジェネティクス北海道
理事長 佐藤 俊彰 様

所 属

本籍地(都道府県名)

現住所

氏 名

昭和・平成 年 月 日生

牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会を受講したいので、関係書類を添えて提出します。

[日本工業規格A4横書]

順位	飼育者	番号	本牛名	総合指数	指数別			乳量・脂肪的EBV			SNFのEBV			蛋白質のEBV			骨格・決定得点のEBV			管理形質			父名	母名									
					乳産性	産乳成分	耐久性	Milk	FAT	FAT%	SNF	SN%	PRO	PRO%	体高	体長	強靭性	乳産性	決定得点	産乳量	気質	持続性			産乳量	産乳量							
1	GH	JP3456565	トクノエ 272P	3,298	103.661	2.664	707	62	97.9	60	0.21	89	117	0.30	58	0.23	-0.40	-0.13	-0.22	1.53	0.71	81	101	100	100	2.22	103	30	99	88	トクノエ	トクノエ	
2	GH	JP3456566	トクノエ 272P	3,198	103.532	2.664	437	62	1.596	62	-0.01	83	151	0.11	58	0.06	-0.19	-0.13	-0.22	1.53	0.71	81	101	100	100	2.07	100	29	101	83	トクノエ	トクノエ	
3	GH	JP3456567	トクノエ 272P	2,892	98.489	2.899	446	117	1.047	61	0.19	79	97	0.05	47	0.13	0.83	1.21	0.63	0.95	0.96	70	101	100	100	1.72	101	22	100	79	トクノエ	トクノエ	
4	LNU	JP3456568	トクノエ 272P	2,842	140.366	2.365	527	80	1.628	76	0.11	89	137	-0.05	45	-0.07	0.50	0.37	0.79	0.79	81	101	100	100	1.92	98	29	100	89	トクノエ	トクノエ		
5	TAC	JP3456569	トクノエ 272P	2,778	134.988	2.247	592	92	1.050	64	0.00	85	136	-0.06	45	-0.07	0.13	0.32	0.64	1.46	1.10	76	101	100	100	2.30	102	85	102	85	トクノエ	トクノエ	
6	TAC	JP3456570	トクノエ 272P	2,604	84.330	1.840	721	43	1.048	50	-0.07	85	118	-0.09	49	0.02	1.22	0.64	0.45	0.73	1.14	77	102	100	100	2.12	103	61	100	99	トクノエ	トクノエ	
7	TAC	JP3456571	トクノエ 272P	2,577	115.998	2.234	291	93	1.448	50	-0.07	85	118	-0.09	49	0.02	1.22	0.64	0.45	0.73	1.14	77	102	100	100	2.17	100	30	100	85	トクノエ	トクノエ	
8	TAC	JP3456572	トクノエ 272P	2,242	91.668	1.816	483	93	1.301	15	-0.35	87	105	-0.09	47	0.04	1.05	0.34	0.12	0.92	0.93	78	101	100	100	1.85	101	30	100	87	トクノエ	トクノエ	
9	GH	JP3456573	トクノエ 272P	2,244	135.984	1.706	522	133	1.148	25	-0.20	87	117	-0.16	52	0.14	1.01	0.64	0.62	0.40	0.63	78	101	100	100	2.75	100	27	100	87	トクノエ	トクノエ	
10	TAC	JP3456574	トクノエ 272P	2,244	97.013	1.992	292	117	2.026	51	-0.26	76	118	-0.33	36	-0.27	0.96	1.33	1.46	1.01	1.31	66	101	100	100	2.25	100	30	100	76	トクノエ	トクノエ	
11	TAC	JP3456575	トクノエ 272P	2,192	101.147	1.884	308	80	1.122	34	-0.10	99	114	-0.15	49	0.08	0.23	0.66	0.33	0.93	0.82	99	101	100	100	2.60	99	58	101	89	トクノエ	トクノエ	
12	LNU	JP3456576	トクノエ 272P	2,192	101.147	1.884	308	80	1.122	34	-0.10	99	114	-0.15	49	0.08	0.23	0.66	0.33	0.93	0.82	99	101	100	100	2.35	100	30	100	87	トクノエ	トクノエ	
13	LNU	JP3456577	トクノエ 272P	2,130	94.375	1.621	385	137	1.209	26	-0.21	86	108	0.02	38	-0.01	0.98	0.19	0.67	1.16	1.05	77	101	100	100	1.61	101	29	99	86	トクノエ	トクノエ	
14	LNU	JP3456578	トクノエ 272P	2,087	103.151	1.905	261	-69	1.446	11	-0.43	86	135	-0.02	50	0.03	0.29	0.28	0.96	0.91	0.93	77	101	99	100	2.72	99	30	101	89	トクノエ	トクノエ	
15	TAC	JP3456579	トクノエ 272P	2,080	139.485	1.907	106	67	1.936	5	-0.15	89	129	-0.19	38	-0.08	1.19	0.38	0.55	0.90	0.90	80	101	100	100	1.99	98	31	101	89	トクノエ	トクノエ	
16	TAC	JP3456580	トクノエ 272P	2,078	140.790	1.946	249	-117	1.922	48	-0.25	89	142	-0.24	41	-0.19	-0.39	0.95	0.28	1.00	0.86	93	101	100	100	2.98	102	42	99	88	トクノエ	トクノエ	
17	LNU	JP3456581	トクノエ 272P	2,074	101.560	1.575	473	26	1.363	25	-0.27	87	113	-0.06	37	-0.07	0.69	0.33	1.64	1.06	1.16	78	100	100	100	2.21	101	31	102	87	トクノエ	トクノエ	
18	LNU	JP3456582	トクノエ 272P	2,074	125.452	1.860	175	13	1.647	32	-0.30	96	142	-0.02	43	-0.10	-0.44	0.52	0.69	0.39	0.32	86	101	100	100	2.28	99	42	100	96	トクノエ	トクノエ	
19	LNU	JP3456583	トクノエ 272P	2,039	78.038	1.685	335	19	1.771	58	0.28	90	72	0.04	31	0.06	-0.50	0.40	-0.08	0.95	0.54	82	101	100	100	2.25	100	31	100	90	トクノエ	トクノエ	
20	TAC	JP3456584	トクノエ 272P	2,021	107.250	1.841	211	-31	1.398	41	-0.13	88	109	-0.13	40	-0.05	0.00	0.43	1.01	0.35	0.48	79	101	100	100	2.52	100	34	100	88	トクノエ	トクノエ	
21	TAC	JP3456585	トクノエ 272P	2,011	114.607	1.886	177	-52	1.435	31	-0.24	86	134	-0.08	44	-0.03	1.05	0.68	1.21	1.15	1.16	78	101	100	100	2.63	101	31	100	88	トクノエ	トクノエ	
22	GH	JP3456586	トクノエ 272P	1,995	156.135	2.219	39	-91	2.224	37	-0.44	91	166	-0.26	46	-0.23	0.13	-0.29	0.76	-0.24	-0.05	82	101	100	100	2.84	100	31	101	91	トクノエ	トクノエ	
23	LNU	JP3456587	トクノエ 272P	1,947	90.826	1.620	422	54	965	66	0.27	85	80	-0.05	22	-0.04	0.56	0.52	0.39	1.08	1.00	77	100	100	100	2.86	101	27	100	85	トクノエ	トクノエ	
24	GH	JP3456588	トクノエ 272P	1,947	97.562	1.823	610	54	1.247	50	0.01	91	89	-0.20	22	-0.18	2.87	0.82	2.69	1.90	2.63	81	101	100	100	2.06	100	31	99	91	トクノエ	トクノエ	
25	GH	JP3456589	トクノエ 272P	1,928	125.956	1.847	125	-44	1.766	27	-0.39	83	139	-0.15	44	-0.12	0.29	0.51	0.15	0.49	0.62	76	101	99	99	2.59	100	28	99	85	トクノエ	トクノエ	
26	LNU	JP3456590	トクノエ 272P	1,928	114.071	1.746	192	-30	1.398	41	-0.13	88	109	-0.13	40	-0.05	0.00	0.43	1.01	0.35	0.55	80	102	101	100	2.52	101	38	100	88	トクノエ	トクノエ	
27	GH	JP3456591	トクノエ 272P	1,889	94.273	1.728	137	24	97.0	66	0.27	88	87	0.01	32	0.12	-0.20	1.37	1.11	1.24	1.29	81	101	100	100	2.25	101	31	100	90	トクノエ	トクノエ	
28	GH	JP3456592	トクノエ 272P	1,889	50.936	1.678	552	-37	4.69	41	0.24	90	47	0.07	27	0.12	0.20	0.21	0.37	1.11	1.24	1.29	81	101	100	100	2.25	101	31	100	90	トクノエ	トクノエ
29	LNU	JP3456593	トクノエ 272P	1,889	94.273	1.728	137	24	97.0	66	0.27	88	87	0.01	32	0.12	-0.20	1.37	1.11	1.24	1.29	81	101	100	100	2.25	101	31	100	90	トクノエ	トクノエ	
30	LNU	JP3456594	トクノエ 272P	1,928	81.155	1.333	192	-30	1.071	15	-0.26	83	97	0.03	33	-0.02	0.33	0.32	0.30	0.54	0.63	77	102	100	100	1.68	102	29	102	86	トクノエ	トクノエ	
31	GH	JP3456595	トクノエ 272P	1,908	114.071	1.746	192	-30	1.398	41	-0.13	88	109	-0.13	40	-0.05	0.00	0.43	1.01	0.35	0.55	80	102	101	100	2.52	101	38	100	88	トクノエ	トクノエ	
32	LNU	JP3456596	トクノエ 272P	1,889	50.936	1.678	552	-37	4.69	41	0.24	90	47	0.07	27	0.12	-0.20	1.37	1.11	1.24	1.29	81	101	100	100	2.25	101	31	100	90	トクノエ	トクノエ	
33	LNU	JP3456597	トクノエ 272P	1,889	50.936	1.678	552	-37	4.69	41	0.24	90	47	0.07	27	0.12	-0.20	1.37	1.11	1.24	1.29	81	101	100	100	2.25	101	31	100	90	トクノエ	トクノエ	
34	LNU	JP3456598	トクノエ 272P	1,889	50.936	1.678	552	-37	4.69	41	0.24	90	47	0.07	27	0.12	-0.20	1.37	1.11	1.24	1.29	81	101	100	100	2.25	101	31	100	90	トクノエ	トクノエ	
35	TAC	JP3456599	トクノエ 272P	1,861	84.410	1.166	632	63	1.245	-2	-0.49	89	108	-0.01	33	-0.07	0.97	0.36	0.86	1.72	1.45	78	100	99	100	2.01	101	31	100	88	トクノエ	トクノエ	
36	LNU	JP3456600	トクノエ 272P	1,849	61.363</																												

JP3H53959

個体識別番号:03620-0523-1
登録番号/53959 平成18年2月18日生

ヘンカシーン ゴールド ドリーム

TL/TV

- ゴールドウイン息子牛で母系は「ヒラリー」
- 高乳脂肪量・率&高蛋白質量・率を発揮
- 乳器の付着に優れ、肢蹄良好

- ♀ヘンカシーン ヒラリー ホワイト メイソン ET (NTP+3836)
- ♂ヘンカシーン トップ ドリーム ET
- ♀ヘンカシーン ヒラリー デイモンド
- ♀ヘンカシーン ヒラリー デイ ハーシェル (NTP+5477)
- ♀ヘンカシーン ストーマテイツク ヒラリー
- ♂ヘンカシーン ゴールド ドリーム
- ♀ヘンカシーン ヒラリー オリブ ET (NTP+5008)
- ♀ヘンカシーン ヒラリー レンジ ET (NTP+3760)
- ♀エッチェフ ヒラリー チェリー ガール ET (NTP+3959)
- ♀エッチェフ ヒラリー カナ ET (NTP+2683)
- ♀ヘンカシーン ストーマテイツク デイ ジャスミン ET (NTP+3706)

注1)NTP順位はNTPトップ40位中のランキング 注2)NTPは2011年2月現在

NTP全国第3位にランキングされたゴールド・ドリームは産乳成分や疾病繁殖成分を兼ね備えた、好体型のゴールドウイン息子牛として注目を浴びています。

母ストーマテイツク・ヒラリー(89点)【写真1】は、今や日本を代表するエリートカウ「ホワイト・メイソン(91点)」【写真2】の曾孫に当たります。ホワイト・メイソンは1997年10月生まれの13才ですが、現在も素晴らしいフレームと肢蹄を兼ね備え、湧別町・五島順二牧場の牛舎で活躍中です。母ストーマテイツク・ヒラリーは残念ながら他界しましたが、五島氏が大絶賛していた好体型牛で、後にもう1度ストーマテイツクとの組み合わせで牛を作りたいと希望し、生産されたのがヘンカシーン・ストーマテイツク・デイ・ジャスミン・ET【写真3】でした。ジャスミンは現在、宮崎県えびの市の前原和明牧場に繋がれており、初産時に84点(乳器84点)の好体型で高能力エリートカウとして注目されています。

ヒラリー・ファミリーにストーマテイツク、そしてゴールドウインをクロスして生産されたゴールド・ドリームは、期待に答えて全国第3位でデビューを果たしました。娘牛の写真をご覧頂くとお分かりのとおり、肢蹄評価が第4位と高く、乳器は特に後乳房の高さや幅、中央懸垂の強さに優れています。また、ゴールド・ドリームは体細胞スコアが低いいため、疾病繁殖性成分が第3位と高く、産乳成分も第4位と高能力を伝達する種雄牛です。

是非とも皆様の牛群に取り入れて頂きたい血液の1頭です。

娘牛1【写真4】鹿追町/河原崎 孝一氏 所有
娘牛2【写真5】雄武町/佐藤 久氏 所有
娘牛3【写真6】熊本県/(有)無限テイラー 所有



グリーンATV ドリーム ロンベス



ヘンカシーン ゴールド ドリーム



ヘンカシーン ストーマテイツク ヒラリー



ホワイト・メイソン



ヘンカシーン ストーマテイツク デイ ジャスミン ET



RL ダイヤモンド セカンド ドリーム



インサイドリバー ドリーム ジェファアソン

JP3H53622

個体識別番号:02225-0750-9
登録番号/53622 平成17年3月7日生

フォレスト フェアリー エムトト オーマン

ET
TL/TV

- オーマン × エムトトで母系は「リードメー」
- 高能力で産乳成分高く、特に高乳蛋白質量・率を誇る
- 体高十分で、体深く、尻の角度は好ましい

- ♀ホイッターファームス リード メー ET
- ♀ウオーレーガン メイベル ET
- ♀クロケツトエーカーズ DRHM メイ ET
- ♀ウオーレーガン ルドルフ エリーメイ ET
- ♀クロケツトエーカーズ エムトト エリー ET
- ♂クロケツトエーカーズ オット ET
- ♀クロケツトエーカーズ エリータ ET
- ♀クロケツト エーカーズ エミリアン ET
- ♂フォレスト フェアリー エムトト オーマン ET

NTP全国第9位にランキングされたエム・オーマンは産乳成分が高く、フレームの良いオーマン息子牛です。

母系は近年再び注目を浴びている「リードメー」ファミリーです。また、エム・オーマンにはオーマン × エムトト × ルドルフと言うように長命連産性に富む代表的な種雄牛が盛り込まれているのも魅力の一つです。

母クロケツトエーカーズ・エムトト・エリー ET(90点)【写真1】は、世界を代表するエリートカウ「リードメー」【写真2】の孫に当たります。エムトト・エリーは、長命性に係る形質や能力の遺伝伝達能力が高いエリートカウとして注目され、エム・オーマンのフルシスターであるエリータ【写真3】も同様に注目されており、さらにエリータのシヨツテルの娘である元CTPI第1位のエミリアン【写真4】は今や世界中から注目を浴びて

エリートカウでいまだに人気を衰えません。

エム・オーマンは、オーマンの特徴を受け継いだ高能力を備えており、乳蛋白質量・率は共に全国第3位にランクされています。

娘牛の写真をご覧頂くとお分かりのとおり、エム・オーマンはオーマン息子牛の中でも特にフレームが良いのが特徴で、体貌と骨格は+1.18と全国7位にランキングされています。

娘牛1【写真5】別海町/田中 博行氏 所有
娘牛2【写真6】釧路市/浅野 徳昭氏 所有



クイーンハースト ジュリア エムトト



フォレスト フェアリー エムトト オーマン ET



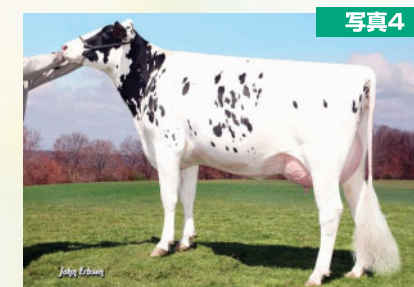
クロケツトエーカーズ エムトト エリー ET



リードメー



エリータ



エミリアン



ブルー エムトト オスカー

上川管内における『もとつぼ系』和牛増殖の試み

島根県を起源とする『もとつぼ系』繁殖雌牛が上川管内に導入されて15年余り、その系統からの繁殖雌牛が近年の北海道育種価で上位に評価される他、本団の候補種雄牛も造成されるなど優良系統として認知されつつあります。今回『もとつぼ系』研究部会長の前田哲也氏、また管内に始めて導入した錦織良人氏に部会での取り組みや『もとつぼ系』の特徴について話を伺いましたのでご紹介致します。

1 研究部会設立まで

上川管内は北海道のほぼ中央に位置し、周囲を大雪山系、夕張山系等の山々に囲まれた内陸地帯の盆地であることから夏季と冬季の寒暖差が大きい地域です。また南北に細長いため各地域における気象条件にも差があります。

今回ご紹介致します『もとつぼ系』研究部会は上川和牛改良協議会(会長桑田俊和氏)の中にある組織で、当時まだ管内に少なかった『もとつぼ系』繁殖雌牛の維持増殖を目的とし、平成19年に東神楽町の前田哲也氏を部会長として設置されました。平成22年12月現在の『もとつぼ系』繁殖雌牛の所有者は11名、飼養頭数は37頭となっており、少しずつではありますが年々増加傾向にあります。

2 『もとつぼ』導入の経緯

上川管内における『もとつぼ系』和牛の始まりは、平成6年に東神楽町の錦織良人牧場に導入された『もとつぼ4』(糸光◆×賢晴×第7系桜)から

始まります。とは言っても最初から錦織さんはこの雌牛に的を絞って購入した訳ではありませんでした。当時全盛期だった『糸光◆』の娘牛からの後継牛が欲しいと思い、島根県で探していたところ17ヶ月にして体型得点84点、しかも「県の共進会に出品された牛を買わないか」という話が舞い込んできました。この牛が偶然にも『もとつぼ4』でした。導入当時のことを錦織さんに尋ねると「高さや幅があり、蹄が丈夫で管理しやすく、そして何より既に調教されて大人しかった」と懐かしそうに振り返ってくれました。また繁殖能力が高く受精卵を50卵以上採卵し、全道各地に200頭以上の『もとつぼ4』の子孫が広がり、北海道を代表する繁殖雌牛群を形成しつつあります。

3 『もとつぼ系』の特徴

そもそも『もとつぼ系』は『もとちほ系』と呼ばれ、昭和20年代に島根県仁多郡島上村(現奥出雲町)で発生した希少系統です。数頭の『もとちほ』雌牛系譜の中で後に最も繁栄したのが『もとちほ3』(父:昭和藤森)と『もとちほ4』(父:秀本)の異父姉妹であり、上川管内にいる『もとつぼ系』雌牛もすべてこのどちらかの子孫にあたります。外貌の特徴として古来より『もとつぼ系』は中柄で肋腹よく体伸に富み、尻の形状が良好であると言われております。その特徴を現在の審査成績や育種価で評価をするならば、減率審査成績では道内雌牛の平均よりも得点が高く、育種価では分娩間隔・枝重・ロース・バラの厚さ・皮下脂肪厚・歩留・脂肪交雑とも道内雌牛平均を大きく上回っております。その結果として現在では産肉性・繁殖性の高い系統という評価を得るに至

っています。

その証拠として先に紹介致した『もとつぼ4』の娘牛『もとつぼ4の8』(父:安福165の9)は平成15年の北海道育種価で49位に評価された他、その娘牛『もとつぼ8の29』(父:平茂勝)は平成22年に160位に評価されています。また本団による候補種雄牛H黒-178「幹壺」(父:北国茂)、H黒-195「深山白清」(父:国牽白清)はどちらも『もとつぼ4』ファミリーの種雄牛です。「幹壺」は平成24年の長崎全共の第7区候補種雄牛となりました。「深山白清」は上川管内の上富良野町で生産されました。どちらも現在現場後代検定中であり近い将来『もとつぼ系』種雄牛が全国各地で活躍する日が期待されます。

4 研究部会による今までの取り組み

これまでに『もとつぼ系』研究部会が行った取り組みについて簡単ではありますが紹介させていただきます。

①系統造成勉強会

まず最初に行ったのが管内にいる『もとつぼ系』繁殖雌牛を10数頭持ち寄ってその特徴を把握することでした。その時の所感としては総じて尻や十字部の幅があり、背線が強く、中駆が充実し、肩のしまりが良いといった特長を会員同士で確認し合ったとのことでした。更に今年は管内の共進会に『もとつぼ系』を優先的に出品しようとして計画しているそうです。

②素牛販売時にリボン装着

平成20年から安平町の南北海道市場において、ある一定以上の発育をした『もとつぼ系』素牛にリボンを着けて販売しています。主に東北や岐阜県に購買されることが多いようです。

③H黒-178「幹壺」の後代検定事業での取り組み

管内にいる『もとつぼ系』繁殖雌牛に本団の「幹壺」を交配することで、産子の肥育成績を確認し、雌側の育種価が判明することにより、能力の高い『もとつぼ系』を残していくという目的もあります。

④増殖目的の受精卵販売

去年から管内での更なる増殖を目的として研究部会長の前田哲也氏が、まだ『もとつぼ系』繁殖雌牛を持っていない会員を対象に『もとつぼ系』受精卵の販売を格安で行いました。これまでに2度採卵し、1度目は「第1花園」、2度目は「茂洋」と、どちらも島根県に由来する藤良系の血液で市場性もある種雄牛であることから、どちらも抽選になるほど希望が多かったそうです。

5 今後の課題・抱負について

最後に前田部会長に今後の『もとつぼ系』繁殖雌牛の系統造成について聞いたところ、「年々『もとつぼ系』の血液から離れていっており本来の『もとつぼ系』の良さをいかに保っていくかが課題であり、「幹壺」や「深山白清」の成績が良ければ『もとつぼ系』に授精して血液を固定することも考えなくてはいけない」と話していました。また将来『道内初の全共4区出場』という目標を掲げており、『もとつぼ系』系統造成の取り組みが道内で第2、第3の『もとつぼ』発掘に繋がり、上川管内はもとより北海道和牛の改良に少しでも貢献していきたいとの抱負を聞かせて頂きました。

(道北事業所 齋藤 哲也)

JP3H54002

個体識別番号:02375-0854-6
登録番号/54002 平成18年4月26日生

フォレスト フェアリー ブリッツ ゴールドデン ET

- ゴールドウイン × ブリッツのニューフェイス
- 好体型で肢蹄に優れる
- 高能力を発揮、特に高乳量である

- ♀メインストリーム マーク ハーモニー
- ♀メインストリーム ジェッド ハーモニカ ET
- ♀メインストリーム ウイン ホリホック
- ♀メインストリーム BL カリーオペ ET
- ♂フォレスト フェアリー ブリッツ ゴールデン ET

NTP全国第10位にランキングされたゴールドデンは好体型 & 高乳量のゴールドウイン息牛です。

母系は好体型と高能力として知られ、アメリカ ワシントン州にあるメインストリーム牧場の代表牛である、メインストリーム マーク ハーモニー(90点)のファミリーです。

ゴールドデンの祖母であるウイン ホリホック(88点)【写真2】は11歳の生涯乳量2,859日で131,434kgの高能力牛です。この高能力牛にフレーム雄大なエモリー ブリッツを掛け合わせて生産されたカリーオペ ET(90点)がゴールドデンの母です【写真1】。

娘牛はフレームが雄大でバランスが良く、体中から満ち溢れるキャラクターは魅力的です。また、乳器は付着が強く、特に後乳房の幅や乳房の懸垂の強さも優れています。さらに、肢蹄も全国第3位とゴールドウインの特徴が受け継がれています。

ゴールドデンは母系からのブリッツ × ウインチエスターの特徴を確実に受け継ぎ、乳量が全国第4位にランキングされております。

交配には乳成分の安定しているオーマン系の血液への交配をおすすめします。

娘牛1【写真3】鹿追町/高田 彰二氏所有
娘牛2【写真4】雄武町/栗山 照久氏所有

写真3



ヘンドリカ アストロ
ネットイー ゴールデン

写真4



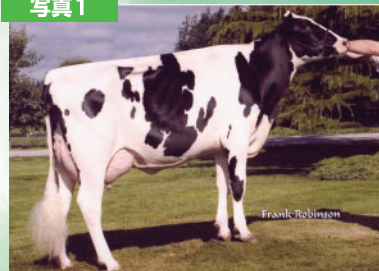
スプライト ゴールデン メイン

本牛



フォレスト フェアリー ブリッツ ゴールデン ET

写真1



メインストリーム BL カリーオペ ET

写真2



ウイン ホリホック

JP3H53940

個体識別番号:02375-0837-9
登録番号/53940 平成18年2月19日生

フォレスト フェアリー ジュラー ウイナー ET

- ゴールドウイン × ジェスロ
- 抜群の乳器で、体型改良も顕著
- 乳成分率オールプラス

- ♀マクウエル ビースター イー レイブン ET
- ♀マークウエル ルーク レアリテイ ET
- ♀フォレスト フェアリー エアロ ドリーム
- ♀フォレスト フェアリー コンビネーション ET
- ♀フォレスト フェアリー コンビネーション ジェスロ
- ♂フォレスト フェアリー ジュラー ウイナー

NTP全国第14位にランキングされたウイナーは乳器全国第1位、耐久性成分全国第2位のゴールドウイン息牛です。

母系は好体型のファミリーとして知られ、アメリカ ワシントン州にあるマークウエル牧場の代表牛である、「イー レイブン」【写真1】ファミリーです。

ウイナーの4代前母であるマークウエル ルーク レアリテイ ET【写真2】は、イー レイブンのルーク娘牛の1頭として注目を浴びました。ご存知のとおり、レアリテイのフルシスターであるマークウエル ルーク ラプチャー ET【写真3】は多くのエリートカウやショウカウを生産し、本団種雄牛のJP3H52371 HHG ホットショット ETの母としても知られています。

ゴールドデンの母コンビネーション

ジェスロは、別海町 羽石勝幸牧場で生産されましたが、レアリテイにエアロラインの輸入受精卵を「新需要適合型乳牛改良モデル事業(いわゆるMOET事業)」で導入して頂いたことから始まりました。

ウイナーの娘牛はフレームが雄大で乳器に優れています。特に前乳房の付着が強く、後乳房の高さと幅に優れています。さらに、尻の角度が理想的で坐骨幅が広いのも特徴です。

交配には乳量の安定しているBWマーシャルの血液への交配をおすすめします。

本団種雄牛ジェスロの娘牛にゴールドウインの組み合わせで生産されたウイナーは乳器改良のスペシャリストです。

娘牛1【写真4】枝幸町/今 正明 氏 所有(2産目)
娘牛2【写真5】鹿追町/(農)笹川三愛農場 所有

本牛



フォレスト フェアリー ジュラー ウイナー ET

写真1



イー レイブン

写真2



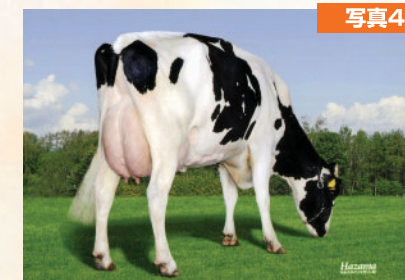
マークウエル ルーク レアリテイ ET

写真3



マークウエル ルーク ラプチャー ET

写真4



ハイセン ウイナー ダーハム

写真5



アジサイ ウイナー ドリーミー

JP3H53998

個体識別番号:02213-1098-8
登録番号/53998 平成18年4月18日生

ジレット ティーウエーブ スプラッツシユ ET

- ダーラム サム×ブリッツで母は「セカンド ウインド」
- 極めて好体型で乳器も素晴らしい
- 体高があり尻の形状好ましく、肢蹄も良好

- ④ プレイデール ジブシー グランド
- ④ プレイデール セカンド カット ET
- ④ ジレット ファイナル カット ET
- ④ GT ウエーブ SC イグニター カナ ET
- ④ GT ウエーブ SC ベスト サファイア ET (NTP+2998)
- ④ ティーウエーブ ベスト ドレッサー ET (NTP36位)
- ④ ジレット ブリッツ セカンド ウインド ET
- ④ ジレット ウインドブルック
- ④ ジレット ティーウエーブ スプラッツシユ ET
- ④ GT ウエーブ FBI セカンド サマー ET (NTP+2906)
- ④ ジレット ブリッツ エス カット ET
- ④ GTウエーブ トイストーリー S カルピン ET (NTP+2860)

スプラッツシユはわが国初のダーラム サム息牛です。

母系はカナダを代表する「ジブシー グランド」(写真1)ファミリーで、母セカンド ウインド(88点) (写真2)は、カナダオンタリオ州のジレット牧場と北海道幕別町 山田敏明牧場が共同所有しているスタイリッシュなエリートカウです。

スプラッツシユの祖母であるセカンドカット(写真3)はジブシー グランドの代表雌牛であり、カナダの好体型種雄牛であるファイナルカットの母牛としても知られています。また、血統図でお分かりのとおり、わが国にも多くのエリー

トカウがNTP上位で活躍しております。

母セカンドウインドは現在、カナダLPI第3位にランキングされている好体型種雄牛ウインドブルックの母牛でもあります。

スプラッツシユは耐久性成分が+771と高く、NTP40位内のランキングでは第2位相当となります。

娘牛は高さがあり、鋭角性に富んでおり、乳器と肢蹄が優れているのが特徴です。

カナダを代表するカウファミリーからのダーラムサムの血液を是非お楽しみ頂きたいものです。

(乳牛改良課 藤田 功)



ジレット ティーウエーブ スプラッツシユ ET



ジブシー グランド



ジレット ブリッツ セカンド ウインド ET



セカンド カット

娘牛1(写真4)帯広市/太田 知博氏 所有
娘牛2(写真5)帯広市/太田 知博氏 所有



サウザンライズ エポー ゴールド キューラー



サウザンライズ エポー ゴールド キューラー 餌喰い

連載⑩ サイロ・サイレージ物語

～ロールベールの登場で変わる農村風景～

バームクーヘンのような円筒状の乾草ロールが目立ち始めたのは1975(昭和50)年ごろのことである。乾草といえば四角に梱包されたものという固定観念を持つ人たちはびっくりしたらしい。

当初、ピックベールと呼ばれ、広大な草地に点々と散らばるさまは北海道特有の絵になる風景で、多くの写真家たちが思い思いの作品を作り上げた(写真1)。

ところがこの乾草ロールを貯蔵小屋に収納したとき事故が起こった。火災である。

乾草は水分含量が30~40%の時、好氣的条件で発熱する。発熱したロール乾草を貯蔵小屋にまとめて数十個も積み上げると熱がこもって70~80℃以上の思いがけない高温になる。そして、乾草が含む揮発成分に着火してぶすぶすと燃え出す、くん炭化現象が起こる。いったん火が付くと消火は難しく、ひと月以上

かけて燃え尽きる。

1980年代に北海道内の酪農家でこの火災が数多く発生している。この火災を防ぐ対策として、大きなビニール袋にロールをすっぽり入れるパック方式が普及したのだが、袋に小さな穴が開くと全体にカビが生える問題が発生した。この改善策としてロールベールをフィルムでぐるぐる巻きにするラップ式が登場し、全盛期を迎える。

当初、ロールベールサイレージは補助サイロの役割を期待された。ところが、一人作業ができるので飼料畑が比較的小規模な府県の酪農家から歓迎され、燎原の火のように全国各地に広がっていった。

ロールベール用の作業機はイギリス生まれだが、2002(平成4)年には日本生まれのトウモロコシロールベールサイレージ用の作業機が開発された(写真2)。この機械の開発によって、減少気味だったト

ウモロコシの栽培を再び増やそうという機運が、府県の小規模農家を中心に高まっている。

サイロの形、大きさが酪農の経営規模拡大によって変わってゆくことを示す1枚の絵がある(写真3)。

左の小型ブロックタワーサイロは1960年代の数頭規模の時、次の角型コンクリートタワーサイロは70年代、右の80年代の大型コンクリートタワーサイロは50頭以上の経営規模になる。そして、規模拡大が進んだ90年代になると手前のベールサイロが加わり、さらにバンカーサイロへと移っていく。

1989(平成元)年には乳牛頭数208万頭、牛乳生産量862万t、1戸あたり頭数が30頭に達し、ピークを迎える。しかし、酪農家の戸数は5万5000戸と減少が続く。

この連載は、酪農学園大学短期大学部名久井教授の著書「サイロ・サイレージ物語」より抜粋したものです。なお、この本は同大学の生協にて販売されております。



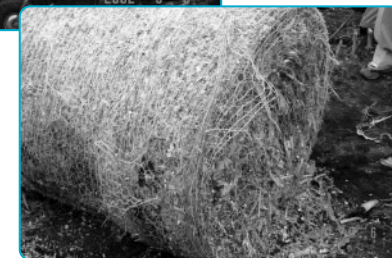
写真1
点在するロールベールサイレージは旅行者の目を楽しませる。



写真2
2002年にトウモロコシのロールベールサイレージが登場した。



写真3
経営規模の拡大に伴ってサイロの形、大きさも変わった。



第37回 国際胚移植学会 in Florida

毎年1月に開催される国際胚移植学会(IETS)の大会が今年は米国フロリダ州オーランドで開かれ、行ってまいりました。フロリダは保養地として有名ですが、オーランドには大きなコンベンションセンターが並び、またディズニーワールドやユニバーサルスタジオがある、一大観光都市でもあります。てっきり夏だと勘違いしていましたが、昼間暖かくても朝晩は寒く、同じ北半球であることを実感しました(もちろん気温がマイナスになったりはしません)。

さて学会では最新の研究成果を紹介する講演会と一般参加者のポスターセッションがあります。今年は参加者が400人ほど、ポスターも339題と盛会でした。大会の盛り上がりは開催場所によっても左右されそうです。

(内容をさわりだけ紹介します)

初日(1月8日)、三日間の大会に先立ってプレコンファレンスシンポジウムが開かれました。暑熱期の乳牛の繁殖を研究テーマにしている地元フロリダ大学の企画「牛の繁殖と胚技術の最前線」です。受精率向上をテーマに7名が第一線の研究を紹介された後、「牛の繁殖とETに今後どんな技術が求められるか」と題して、産業界から提言を求めるといふ、学会ではちょっと珍しい討論会が行われました。ベニンク氏(フロリダの酪農家)は乳生産と牛群の遺伝改良を両立させるOPU-IVF技術に期待していると述べ、ストラウド氏(テキサスでET開業)は凍結胚

シンポジウム 「牛の繁殖と胚技術の最前線」

- 「泌乳牛における卵胞と胚の品質」
リロイ氏(ベルギー・アントワープ大学)
- 「子宮の感染防御と子宮疾病のコントロールについて」
レブランク氏(カナダ・ゲルフ大学)
- 「オブシククの最新情報」
ウィルトバンク氏(米国・ウィスコンシン大学)
- 「採胚および胚移植の定時プログラム」
バルセリ氏(ブラジル・サンパウロ大学)
- 「卵子・胚・子宮に対するプロゲステロンの影響」
ロネガン氏(アイルランド・ダブリン大学)
- 「体外胚の培養におけるサイトカイン及び成長因子の添加」
ブロック氏(米国・フロリダ大学)
- 「胚の生存を改善する栄養学的アプローチ」
サッチャー氏(米国・フロリダ大学)

本大会 「家畜産業と医学研究の接点としての繁殖技術」

- セッション1
「卵巣における卵胞の備蓄」
- セッション2
「成長因子と卵胞発育」
- セッション3
「胚・卵子・精子の低温保存技術」
- セッション4
「家畜の遺伝子工学」
- セッション5
「エピジェネシスからエピジェノミクスへ」
- セッション6
「受胎におけるセンサー/ドライバーとしての分子ネットワーク」
- 基調講演
「発生学と細胞分化における核構造の役割」

プラクティショナーズ・フォーラム

- 「過剰排卵処置の簡易化の試み」
ポー氏(アルゼンチン・ET開業)
- 「採胚における性選別精液の利用方法」
サフィルホ氏(ブラジル・サンパウロ大学)
- 「性選別精液を使った体外受精胚の生産」
レミラード氏(米国・トランスオバジェネティクス社)



学会風景



CRIギルバート部長(右)と

の品質向上と過剰排卵処置の簡易化の研究を望む、と述べました。最後にAI団体から、ギルバート氏(Genex-CRIの生産部長)が「もしもアラジンの魔法のランプがあったら」と題して、AI技術の問題点をプレゼンされました(日本ならドラえもんを出すところ)。いまだに種雄牛の受精率を予測できないことなど、業界共通の悩みを分かりやすくアピールしていました。ギルバート氏にはGHも職員研修などでお世話になっており、話す機会が多いのですが、今後ジェノミックで改良が進んでいくことから、種雄牛の導入や精液生産の体制をどう構築していくかが難しい課題だと語ってくれました。

この後三日間にわたって「家畜産業と医学研究の接点としての繁殖技術」をメインテーマに本大会が行われましたが、項目を紹介するに止め

ます。講演のうち半分ぐらいは牛に直接関係してくるものですが、白状しますと英語での講演にはついていけない部分が多いです。ただし、最後の基調講演はミクロの世界で染色体やDNAがどのように動いているか、という研究で、我々の知っている繁殖技術とは次元の違う話でした。いつも活発に討論している面々もお手上げ、という顔をしていて、少しでも先生達に親近感を覚えました。

なお、IETSパイオニア・アワード(大きな業績を上げた研究者への表彰)がアン・ウィルマット博士(英)に贈られました。ウィルマット氏はクローン羊ドリーの生みの親として大変有名な方ですが、元々は牛や豚のAI・ETを研究していました。現在はエジンバラ大学の再生医学研究所長であり、本大会のテーマを象徴する存在といえます。ドリーの誕生はラッキーな部分もあったが、研究を成功させるためにはグッドラックに加えてチームワークとハードワークが必要不可欠である、という話を興味深く聞きました。

ポスターセッションでは、GHからも一題「精子選別用フローサイトメーターの機種の違いによる体外受精成績の比較」を発表してきました。今年も主に選別精液について情報収集を行ないましたが、選別処理の前後で精子の品質を検討する発表が多く、まだまだ改善の余地があると認識を新たにしているところです。

最終日、学術講演とは別にプラクティショナーズ・フォーラム(牛ETの実務者集会)が開かれました。三題の話題提供に対して合計二時間で、最も活発に質疑応答が行われた集まりとなりました。うち二題は選別

精液をETでどう活用するかという内容で、質問も多く、体内・体外とも注目を集めていることがよく分かります。トランスオバ社は米国内三か所のセンターで体外受精サービスを提供しており、レミラード氏は顧客=酪農家にとってメス精液が有益であると強調していました。

学会最終日の懇親会はダンスパーティーが恒例となっています。もっともハイソなものではなく、ディスコダンス。パーティ前にはランニング・コンペティションを行なうなど、様々な企画で親睦を語っています。日本からも若い学生さんが積極的にポスター発表していますが、より一層の参加と貢献が求められています。



陽気なダンパ

(学会を終えて)

帰国前に一日オフをとり、個人的な趣味でシーワールドへ行って来ました。

園内は非常に広くて、平日だし寒いし、季節外れかと思いきや団体客が押し寄せてきました。ここは魚よりも海獣展示で有名らしく、シャチのショーとセイウチのショーが大入りの人気を集めていました。巨体のシャチがよく調教されているのは驚きで、充分ショーアップされたイルカも地味に感じてしまいます。展示ではイルカとマナティの動きを水槽



シャチ



マナティ

の底から見ることで、時間を忘れて癒されてきました。

一日乗り放題のバスが大通りを南北に走っていて、オーランドは米国の中ではクルマ無しの旅行者に優しく、機会があればぜひお勧めしたい観光地です。

海外出張は体調管理が難しく、正直言ってつらいときもあります(アメリカの食事は特に...)。しかしながら、毎年感じるのですがIETSは数ある学会の中でもっともAIやETの現場に近く、価値のある集まりだと認識しています。英語圏ではない国からの参加者も積極的に討論、交流しています。英会話は相変わらず上達しませんが、習うより慣れろでようやく雰囲気馴染んできました。来年の大会は1月7日から、米国のアリゾナで開催されます。今後は若い力を引き連れて、ジェネティクスの存在をアピールしていきたいと考えております。

(生産部 早川 宏之)

オーランドシーワールド

<<http://www.seaworld.com/orlando/default.aspx>>

遺伝的多様性の確保に最適!!

～おすすめの藤良系種雄牛のご紹介～

近年、性格溫柔で発育が良く産肉能力に優れた気高系種雄牛「平茂勝」号の精液が全国各地で利用され、その産子が繁殖牛として多く保留され活躍しています。また、一方で「平茂勝」由来の種雄牛も全国各地で活躍しているので、気高系に由来する繁殖雌牛頭数は非常に多くなっており、その結果、特定の系統に集中してしまい血統のバリエーション(「遺伝的多様性」以下省略)が減少しています。実際に生産現場からは、発育が良く繁殖能力に優れている藤良系種雄牛の造成を熱望する声が多く寄せられています。すでに、一部の地域では基幹種雄牛として、「第1 花国」号や「平茂晴」号といった藤良系種雄牛が実力を発揮しておりますが、精液利用には厳しい制限があり、利用は限られています。

そんな折、本団において2頭の藤良系種雄牛の産肉成績が判明しましたので、紹介いたします。

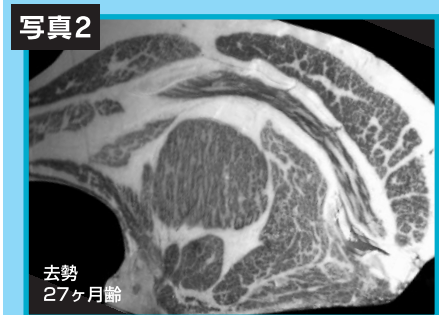
まず初めに、H黒-156「菊糸松56」(きくいとまつ)について、紹介いたします。本牛は数々の種雄牛を生産した事で有名な徳島県「松平牧場」で誕生した種



H黒-156 菊糸松56 平成17年4月8日生

寿恵福

黒身 3717(83.4) 黒高 2014
 第7糸桜 黒身 65(80.0) 黒高 29(91.0)
 てるひめ6 黒身 2033(20/81.1)
 もりひめ2 黒身 5506(42/80.3)
 第14茂 黒身 280(78.4) 黒高 29(87.0)
 第9いとざくら 黒身 695(77.5) 黒高 29(87.0)
 第5やわた6ろ4
 第6藤盛 黒身 280(78.4) 黒高 29(87.0)
 しげる6 黒身 695(77.5) 黒高 29(87.0)
 城松 黒身 280(78.4) 黒高 29(87.0)
 菊則土井 黒身 200(81.1) 黒高 29(87.0)
 とくかね 黒身 1784(79.7) 黒高 29(87.0)
 安谷土井 黒身 200(81.1) 黒高 29(87.0)
 たにひめ 黒身 1784(79.7) 黒高 29(87.0)
 たにづひめ



第6回 ジェネティクス北海道 黒毛和種 枝肉共励会 現場後代検定の部 最優秀賞

母の父:賢深 × 母の祖父:糸光 ◆ 肥育者:浦幌町/大西 孝幸 氏
 枝肉重量:459kg ロース芯面積:61cm² BMS No.11 格付:A-5

雄牛です。母系は本団間接検定(平成14年9月)で脂肪交雑4.0を記録したH黒-82「北金波1」【父:茂重波】の母「もりひめ2」【父:菊照土井】を祖母に持ち、産肉能力については折り紙付きと言えます。しかし、産肉能力に秀でた「北金波1」でしたが、熊波系という血統的な要素もあり増体については気高系種雄牛に及ばず、当時、増体系種雄牛への移行期であった事もあり、肉質の改良に秀でた「北金波1」にとっては不運な時代背景でした。

そこで、育種家である松平氏は欠点を補うことを目的にまず、増体に優れ、産肉能力に定評のあった藤良系の代表的種雄牛である「第7糸桜」を「もりひめ2」に交配し、「てるひめ6」を作出し、更に「第7糸桜」を祖父に持ち、産肉能力に定評のある「寿恵福」を系統交配する事で藤良系の血液を色濃く受け継ぐ「菊糸松56」を造成しました。

その後、現場後代検定に供された33頭の枝肉成績から、上物率57.6%、平均枝肉重量448.3kgと素晴らしい成績(表1)が判明しました。

特筆すべきは、田尻系の雌牛に交配し

た場合でも平均枝肉重量445.1kgと高い増体を示しているほか、気高系の雌牛への交配でも、上物率77.8%、平均枝肉重量466.8kgと質・量ともに素晴らしい成績(表2)であることです。

また、一昨年開催しました第6回の本団枝肉共励会においては、BMS No.11のボリュームのある枝肉が出品され、『現場後代検定の部』で堂々の最優秀賞(写真2)を獲得するなど、その優れた産肉能力を実証しています。

次に、H黒-162「北寿福」(きたとしふく)について、紹介いたします。

本牛は日高地方の最南端に位置するえりも町の『上島牧場』にて生産された北海道産の種雄牛です。

本牛の母「よしふく8」は全国的に人気を博した藤良系種雄牛「糸福(大分)」を父に持ち大分県より導入された優良繁殖牛で、母牛は「日下部蔓」に繋がる蔓牛でもあります。血統の優秀さは本牛、母、祖母と3代に渡って高等登録となり、繁殖成績に高い評価を得ている事からもうかがうことができます。

母「よしふく8」【父:糸福(大分)】に父親である「糸福(大分)」の代表的産子で産肉能力に優れた「寿恵福」を親子交配し、藤良系の血液のみならず「糸福(大分)」

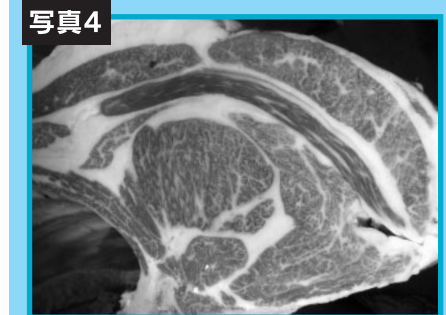
の血液を色濃く受け継いだ種雄牛です。現在、本牛の現場後代検定の成績は全国



H黒-162 北寿福 平成17年8月19日生

寿恵福

黒身 3717(83.4) 黒高 2014
 第7糸桜 黒身 29(87.0) 黒高 65(80.0)
 糸福 黒身 1512(82.8) 黒高 229(84.0)
 よしふく8 黒身 1998(75.8) 黒高 199(80.1)
 糸福 黒身 4998(88.0) 黒高 1121(89.8)
 よしふく8 黒身 73(81.6) 黒高 65(80.0)
 八重福 黒身 73(81.6) 黒高 65(80.0)
 たまよし 黒身 8506(78.7) 黒高 29(87.0)
 第14茂 黒身 280(78.4) 黒高 29(87.0)
 第9いとざくら 黒身 695(77.5) 黒高 29(87.0)
 千代 黒身 280(78.4) 黒高 29(87.0)
 第7ふゆ 黒身 280(78.4) 黒高 29(87.0)
 安美土井 黒身 200(81.1) 黒高 29(87.0)
 まさはる 黒身 1784(79.7) 黒高 29(87.0)
 五久 黒身 200(81.1) 黒高 29(87.0)
 第2たけし



第6回 ジェネティクス北海道 黒毛和種 枝肉共励会 後代検定部の最優秀賞

母の父:福栄×母の祖父:藤枝「ことさかえ」 肥育者:幕別町忠類 健原一治 氏
 枝肉重量:387kg ロース芯面積:68cm² BMS No.9 格付:A-5

和牛登録協会に申請中で、承認前ではありますが上物率55.3%、平均枝肉重量473.5kgと枝肉重量と産肉能力に優れている事が実証されています。

特筆すべき点は去勢の平均枝肉重量が492.3kgと、確実に枝肉重量の確保が出来る点であり、昨今の枝肉相場が低迷している状況下においては肥育購買者にも高い評価をいただけそうです。去勢全体の成績を見ると上物率は60.9%と高く、同じ藤良系の繁殖牛との交配では66.7%、田尻・気高の両系統との交配では60%と、高水準の産肉成績を示しております。

また、第7回の本団枝肉共励会においては、小ザシで形状のしっかりとしたBMS No.9の枝肉が出品され、『現場後代検定の部』で堂々の最優秀賞(写真4)を獲得したほか、優秀賞、優良賞を獲得し、現場後代検定の部における入賞牛4点の内3点を占める結果となり、その産肉能力が優れている事が実証されました。

H黒-156「菊糸松56」同様、育種価の公表が楽しみなH黒-162「北寿福」の藤良系の2種雄牛です。

(肉牛改良課 小寺 貴幸)

表1 H黒-156 菊糸松56 成績集計

	頭数	月齢	上物率	枝肉重量	左半丸重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS	BCS	肉の光沢	肉の色沢等級	しまり	きめ	きめしり等級	BFS	脂肪光沢質	脂肪光沢等級
平均	33	28.6	57.6%	448.3	224.5	54.3	7.3	2.7	73.4	5.7	3.8	3.7	3.7	3.6	4.0	3.6	3.0	4.9	4.9
標準偏差		1.3		48.1	23.7	6.6	0.9	0.8	1.3	1.9	0.5	0.8	0.8	0.9	0.8	0.9	0.2	0.3	0.3
♂	19	28.0	57.9%	458.4	229.3	54.0	7.4	2.5	73.4	5.8	3.8	3.7	3.7	3.6	4.1	3.6	2.9	4.9	4.9
♀	14	29.4	57.1%	434.6	218.0	54.7	7.1	2.9	73.3	5.5	3.8	3.8	3.8	3.6	3.9	3.6	3.0	4.9	4.9

表2 H黒-156 菊糸松56 母の父系統別成績集計

系統	性別	頭数	月齢	上物率	枝肉重量	左半丸重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS	BCS	肉の光沢	肉の色沢等級	しまり	きめ	きめしり等級	BFS	脂肪光沢質	脂肪光沢等級
田尻	♂	13	28.1	53.8%	458	229	53	7.4	2.5	73.3	5.5	3.8	3.6	3.6	3.4	4.0	3.4	3.0	4.8	4.8
	♀	5	29.2	60.0%	412	207	57	6.7	2.5	73.9	5.4	3.6	3.8	3.8	3.4	3.8	3.4	3.0	5.0	5.0
計		18	28.4	55.6%	445	223	54	7.2	2.5	73.4	5.4	3.8	3.7	3.7	3.4	3.9	3.4	3.0	4.9	4.9
波	♂	2	28.3	50.0%	432	217	53	7.5	1.6	74.4	5.0	4.0	3.5	3.5	3.5	4.0	3.5	2.5	5.0	5.0
	♀	1	30.0	0.0%	401	202	47	7.0	3.8	71.7	4.0	4.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0
計		3	28.8	33.3%	421	212	51	7.3	2.3	73.5	4.7	4.0	3.3	3.3	3.3	3.7	3.3	2.7	4.7	4.7
気高	♂	4	27.4	75.0%	474	238	59	7.5	2.9	73.6	7.5	3.8	4.0	4.0	4.5	4.3	4.3	3.0	5.0	5.0
	♀	5	29.5	80.0%	461	231	58	7.9	2.9	74.0	6.6	4.0	4.2	4.2	4.2	4.6	4.2	3.0	5.0	5.0
計		9	28.6	77.8%	467	234	58	7.7	2.9	73.8	7.0	3.9	4.1	4.1	4.3	4.4	4.2	3.0	5.0	5.0
藤良	♂	2	28.1	50.0%	472	237	50	6.8	3.5	71.5	4.5	3.5	3.5	3.5	3.0	3.5	3.0	3.0	5.0	5.0
	♀	2	28.1	50.0%	472	237	50	6.8	3.5	71.5	4.5	3.5	3.5	3.5	3.0	3.5	3.0	3.0	5.0	5.0
計		4	28.1	50.0%	472	237	50	6.8	3.5	71.5	4.5	3.5	3.5	3.5	3.0	3.5	3.0	3.0	5.0	5.0
広島	♂	1	32.0	0.0%	376	189	43	6.1	2.9	71.8	4.0	4.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	5.0	5.0
	♀	1	32.0	0.0%	376	189	43	6.1	2.9	71.8	4.0	4.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	5.0	5.0
計		2	32.0	0.0%	376	189	43	6.1	2.9	71.8	4.0	4.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	5.0	5.0

表3 H黒-162 北寿福 成績集計

	頭数	月齢	上物率	枝肉重量	左半丸重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS	BCS	肉の光沢	肉の色沢等級	しまり	きめ	きめしり等級	BFS	脂肪光沢質	脂肪光沢等級
平均	38	28.9	55.3%	473.5	237.4	57.6	7.9	3.1	73.5	5.7	3.9	3.6	3.6	3.6	3.8	3.6	3.0	4.9	4.9
標準偏差		1.0		42.0	20.8	8.2	0.7	0.8	1.6	1.5	0.5	0.8	0.8	0.8	0.6	0.8	0.2	0.3	0.3
♂	23	28.3	60.9%	492.3	247.0	57.7	8.0	3.0	73.4	5.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.8	3.7	3.0	5.0	5.0
♀	15	29.9	46.7%	444.7	222.8	57.3	7.7	3.1	73.7	5.6	4.0	3.5	3.5	3.5	3.8	3.5	3.0	4.8	4.8

表4 H黒-162 北寿福 母の父系統別成績集計

系統	性別	頭数	月齢	上物率	枝肉重量	左半丸重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS	BCS	肉の光沢	肉の色沢等級	しまり	きめ	きめしり等級	BFS	脂肪光沢質	脂肪光沢等級
田尻	♂	10	28.2	60.0%	498	250	58	8.2	3.1	73.5	6.2	3.6	3.7	3.7	3.7	4.0	3.7	3.0	5.0	5.0
	♀	5	29.8	60.0%	428	216	64	7.5	2.7	74.8	5.8	4.0	3.6	3.6	3.6	3.8	3.6	3.0	5.0	5.0
計		15	28.8	60.0%	475	238	60	8.0	3.0	73.9	6.1	3.7	3.7	3.7	3.9	3.7	3.0	5.0	5.0	
気高	♂	10	28.5	60.0%	494	248	54	7.8	3.1	72.8	5.3	4.0	3.6	3.6	3.7	3.6	3.6	2.9	5.0	5.0
	♀	6	30.1	33.3%	450	224	50	7.7	3.3	72.5	5.5	4.2	3.3	3.3	3.8	3.3	3.0	4.8	4.8	
計		16	29.1	50.0%	478	239	53	7.8	3.1	72.7	5.4	4.1	3.5	3.5	3.6	3.7	3.5	2.9	4.9	4.9
藤良	♂	3	28.1	66.7%	466	235	67	8.4	2.7	75.5	6.3	4.0	3.7	3.7	4.0	3.7	3.0	4.7	4.7	
	♀	4	29.7	50.0%	458	231	61	8.1	3.3	74.0	5.5	3.8	3.5	3.5	3.5	3.8	3.5	3.0	4.5	4.5
計		7	29.0	57.1%	461	233	64	8.2	3.0	74.6	5.9	3.9	3.6	3.6	3.9	3.6	3.0	4.6	4.6	

表5 H黒-156 菊糸松56 現場後代検定調査牛成績

整理番号	本牛名号	生年月日	性別	母の父名	母の系統分類	母方祖父名	居番日	居番月齢	格付	枝肉重量	左半丸重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS	BCS	肉の光沢	肉の色光沢等級	しまり	きめ	きめしまり等級	BFS	脂肪光沢質	脂肪光沢質等級
1	きぼう	H19.5.15	♀	安平照	田尻	平茂勝	H21.12.3	30.7	A-4	465	234	63	7.6	2.8	74.3	7	3	5	5	4	5	4	3	5	5
2	竜太郎	H19.5.15	♂	家康	田尻	若岸8の6	H21.10.1	28.6	A-3	465	234	48	6.8	2.2	72.4	5	4	4	4	3	4	3	3	5	5
3	あしげなみ	H19.5.15	♀	熱富士	波	第2安福土井	H21.11.12	30.0	B-3	401	202	47	7.0	3.8	71.7	4	4	3	3	3	3	3	4	4	4
4	恵後代3	H19.5.16	♀	高栄	田尻	安福165の9	H21.10.1	28.6	A-4	506	253	53	9.0	3.6	72.8	6	4	4	4	4	4	4	3	5	5
5	きくつる	H19.5.16	♀	金鶴	田尻	藤茂	H21.12.10	30.9	A-4	422	212	63	8.1	2.5	75.5	7	4	4	4	4	4	4	3	5	5
6	平 糸	H19.5.19	♀	茂雄	波	安福	H21.10.7	28.7	A-3	437	221	56	7.0	1.6	74.4	5	4	3	3	3	3	3	2	5	5
7	めい	H19.5.22	♀	平茂勝	気高	高栄	H21.11.12	29.8	A-3	480	243	56	8.3	2.4	74.0	4	4	3	3	3	3	3	3	5	5
8	もか	H19.5.23	♀	初代14	広島	乙社6	H22.1.21	32.0	B-3	376	189	43	6.1	2.9	71.8	4	4	3	3	3	3	3	3	5	5
9	いとまつ	H19.5.24	♀	金幸	田尻	神高福	H21.10.1	28.3	A-4	406	204	58	7.6	2.3	74.9	8	4	4	4	4	5	4	3	5	5
10	菊 雄	H19.5.25	♂	谷美土井	田尻	照神土井	H21.10.1	28.3	A-4	496	245	58	8.0	2.8	73.7	8	4	4	4	4	5	4	3	5	5
11	まじこ	H19.5.27	♀	平茂勝	気高	北国7の8	H21.11.25	30.0	A-4	452	225	57	7.0	3.3	72.9	7	4	4	4	4	5	4	3	5	5
12	菊 茂	H19.5.30	♂	平茂勝	気高	紋次郎	H21.9.9	27.4	A-5	507	255	60	8.2	3.3	73.4	8	3	5	5	5	5	5	3	5	5
13	糸松国	H19.6.1	♂	美津福	田尻	北国7の8	H21.10.26	28.9	A-4	433	218	56	6.8	1.8	74.2	7	4	4	4	4	5	4	3	5	5
14	いしなつこ	H19.6.1	♀	金幸	気高	神高福	H21.12.3	30.1	A-4	501	248	57	8.4	3.1	73.5	7	4	5	5	5	5	5	3	5	5
15	安糸松	H19.6.4	♂	安平	田尻	誠隆	H21.10.1	28.0	A-3	404	201	49	8.5	2.5	74.2	5	3	3	3	3	4	3	3	5	5
16	菊糸栄	H19.6.7	♂	高栄	田尻	福松	H21.10.1	27.9	B-2	560	277	48	8.0	4.5	70.0	3	3	3	3	2	3	2	3	5	5
17	きくいと	H19.6.12	♀	照本	田尻	福昌	H21.8.5	25.8	A-3	378	191	49	6.3	2.7	72.8	4	4	3	3	3	3	3	3	5	5
18	くし	H19.6.12	♀	紋次郎	気高	中包	H21.12.3	29.8	A-2	405	202	52	5.6	2.0	73.1	3	3	3	3	2	3	2	3	5	5
19	勝 菊	H19.6.13	♂	平茂勝	気高	安福165の9	H21.10.1	27.7	A-4	523	262	70	7.7	2.7	74.7	8	4	4	4	5	4	4	3	5	5
20	白 龍	H19.6.15	♂	高栄	田尻	金徳	H21.10.1	27.6	A-4	505	252	64	7.1	1.8	74.6	7	4	4	4	4	5	4	3	5	5
21	牛215乃19	H19.6.18	♂	賢隆	気高	賢晴	H21.10.1	27.5	A-4	406	205	43	6.4	2.0	72.4	3	4	2	2	3	3	3	3	5	5
22	菊糸勝	H19.6.20	♂	美津照	田尻	平茂勝	H21.10.22	28.1	A-4	466	234	53	7.8	2.5	73.4	6	3	4	4	4	4	4	3	5	5
23	さとこ	H19.6.22	♀	北国7の8	藤良	平茂勝	H21.11.25	29.2	B-2	461	232	50	7.0	4.2	71.0	3	3	3	3	2	3	2	3	5	5
24	糸 菊	H19.6.24	♀	福栄	田尻	賢深	H21.10.1	27.3	B-3	504	254	53	7.6	3.8	71.6	4	4	4	4	4	3	4	3	5	5
25	菊糸波9212	H19.6.28	♀	糸松波	波	美津福	H21.10.22	27.9	A-4	426	213	49	8.0	1.6	74.4	5	4	4	4	4	4	4	3	5	5
26	たけいと	H19.6.28	♀	菊福鶴	田尻	中包	H21.11.24	28.9	A-4	389	196	57	6.1	2.4	73.8	6	4	4	4	4	4	4	3	5	5
27	しばさく	H19.7.1	♀	賢深	気高	糸晴波	H21.12.9	29.3	A-4	467	233	64	8.3	3.3	74.5	7	4	5	5	5	5	5	3	5	5
28	菊糸雪7837	H19.7.2	♂	安平	田尻	景藤	H21.11.30	29.0	A-4	420	210	51	6.2	1.9	73.2	6	4	4	4	4	4	4	3	5	5
29	ともえ	H19.7.4	♀	第1花園	藤良	平茂勝	H21.10.1	27.0	B-4	482	241	50	6.6	2.7	71.9	6	4	4	4	4	4	4	3	5	5
30	菊 松	H19.7.6	♂	賢深	気高	糸光	H21.10.1	26.9	A-5	459	229	61	7.8	3.4	73.8	11	4	5	5	5	5	5	3	5	5
31	菊糸栄	H19.7.10	♂	高栄	田尻	北国7の8	H21.10.1	26.8	A-4	413	205	60	7.6	2.2	75.2	6	4	4	4	4	4	4	3	5	5
32	石 桜	H19.7.16	♂	美福	田尻	北国7の8	H21.11.26	28.4	A-2	377	188	49	6.8	1.4	74.4	4	5	2	2	2	3	2	3	4	4
33	菊糸安7842	H19.7.19	♂	安福165の9	田尻	晴安	H21.11.30	28.5	A-3	403	201	45	5.8	1.7	72.6	4	4	3	3	3	3	3	3	4	4

表6 H黒-162 北寿福 現場後代検定調査牛成績

整理番号	本牛名号	生年月日	性別	母の父名	母の系統分類	母方祖父名	居番日	居番月齢	格付	枝肉重量	左半丸重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS	BCS	肉の光沢	肉の色光沢等級	しまり	きめ	きめしまり等級	BFS	脂肪光沢質	脂肪光沢質等級
1	小春	H20.3.7	♂	谷福美	田尻	谷茂(青葉園)	H22.7.9	28.1	A-3	493	249	52	7.6	3.2	72.2	4	3	3	3	3	4	3	3	5	5
2	糸晴	H20.3.10	♂	菊照美	田尻	菊照美	H22.7.9	28.0	A-4	478	239	53	7.6	2.5	73.2	7	4	4	4	4	4	4	3	5	5
3	北福20	H20.3.10	♂	勝忠平	気高	安平	H22.8.5	28.9	B-4	521	260	49	8.2	4.3	70.9	5	4	4	4	4	4	4	3	5	5
4	糸晴	H20.3.11	♀	安糸福	田尻	安糸福	H22.8.16	27.2	A-5	575	286	60	9.0	3.8	72.7	9	3	5	5	5	5	5	3	5	5
5	くるる	H20.3.14	♀	平茂勝	気高	糸光	H22.8.31	29.6	A-3	465	228	47	8.0	2.3	73.1	5	4	3	3	3	3	3	3	5	5
6	たから	H20.3.14	♀	金鶴	田尻	糸光	H22.9.28	30.5	A-3	421	211	66	7.4	1.5	76.3	5	5	3	3	3	3	3	3	5	5
7	宮里	H20.3.16	♂	紋次郎	田尻	藤波	H22.8.4	28.7	B-4	481	242	51	8.2	4.0	71.9	7	4	4	4	4	4	4	3	5	5
8	福春真	H20.3.18	♂	福重波	田尻	谷波	H22.8.4	28.6	B-2	472	237	45	8.0	3.7	71.4	4	4	2	2	2	3	2	3	5	5
9	最高牛	H20.3.20	♂	平茂勝	気高	糸晴波	H22.8.15	28.9	A-3	521	261	54	8.3	3.3	72.5	5	4	3	3	4	3	3	2	5	5
10	寿北	H20.3.20	♂	北国茂	藤良	紋次郎	H22.8.5	28.6	A-5	462	233	77	8.6	2.8	76.8	9	4	5	5	5	5	5	3	5	5
11	れもん	H20.3.20	♀	安茂勝	気高	紋次郎	H22.9.30	30.4	A-3	442	218	50	9.0	4.1	72.8	5	5	3	3	3	4	3	3	5	5
12	茂谷	H20.3.21	♂	安茂勝	気高	安平	H22.8.5	28.5	A-3	482	238	58	6.5	2.0	73.6	5	4	3	3	3	3	3	3	5	5
13	とみふく	H20.3.24	♀	第2富藤	藤良	高庭	H22.9.30	30.3	B-3	546	275	50	7.8	4.4	70.3	4	4	3	3	3	3	3	3	4	4
14	北太郎	H20.3.26	♂	平茂勝	気高	紋次郎	H22.8.31	29.2	A-4	513	259	60	8.1	2.3	74.1	6	5	4	4	4	4	4	3	5	5
15	咲寿福	H20.3.27	♂	安平	田尻	隆波	H22.8.15	28.7	A-4	482	242	59	7.4	1.5	74.6	7	4	4	4	4	4	4	3	5	5
16	北寿	H20.3.28	♂	北国7の8	藤良	茂糸波	H22.8.4	28.3	A-4	482	244	66	8.6	3.0	74.9	6	4	4	4	4	4	4	3	5	5
17	平安	H20.3.30	♂	北平安	田尻	北国7の8	H22.8.4	28.2	A-3	499	249	65	8.5	3.8	73.9	5	4	3	3	3	4	3	3	5	5
18	まさことぶき	H20.4.3	♀	平茂勝	気高	第1花園	H21.11.25	31.8	B-3	387	195	45	5.8	2.8	71.8	5	4	3	3	3	3	3	3	4	4
19	道寿福	H20.4.5	♂	平茂勝	気高	金徳	H22.8.5	28.0	B-4	509	255	59	8.1	4.7	71.9	6	3	4	4	4	4	4	3	5	5
20	穂08	H20.4.7	♂	勝忠平	気高	安平	H22.9.2	28.9	A-4	466	234	59	7.6	2.8	73.8	7	4	4	4	4	4	4	3	5	5
21	のぞみ8250	H20.4.8	♀	糸福(徳見島)	藤良	福栄	H22.11.11	31.2	A-3	412	208	70	8.1	1.9	77.0	5	4	3	3	3	4	3	3	4	4
22	勝勝	H20.4.9	♂	平茂勝	気高	安金	H22.8.30	28.7	B-3	467	235	45	7.3	3.1	71.5	3	4	3	3	3	3	3	3	5	5
23	宝大福	H20.4.11	♂	平茂勝	気高	紋次郎	H22.8.4	27.8	A-3	535	269	62	7.3	3.0	72.9	4	4	3	3	3	3	3	3	5	5
24	寿光	H20.4.12	♂	美津福	田尻	安金	H22.8.18	28.2	A-5	469	235	67	8.0	2.2	75.6	8	3	5	5	5	5	5	3	5	5
25	ことさかえ	H20.4.14	♀	福栄	田尻	藤波	H22.9.30	29.6	A-5	387	195	68	7.3	2.8	75.7	9	4	5	5	5	5	5	3	5	5
26	寿福	H20.4.18	♂	藤桜	藤良	糸光	H22.8.4	27.6	A-2	455	229	59	8.0	2.2	74.7	4	4	2	2	2	3	2	3	4	4
27	平栄20	H20.4.19																							